



〔きゅうにしおかすいげんちしゅすいとう〕

旧西岡水源池取水塔

軍用水道の施設として

旧陸軍第7師団歩兵第25連隊の軍用水道として、月寒川上流に建設された月寒水道は、明治41(1908)年6月着工、翌年9月に完成した。なお、取水塔の建築年代については明治43(1910)年という説もある。

取水塔はこの時に完成した水道施設の一部であり、下部は内径1.5m、高さ6.6mの円柱状レンガ造りである。上部は、六角形平面の下見板張り、縦長窓付きの木造部分と、六角錐形のトタン菱葺屋根が載っている取水塔である。設計は、陸軍技師の井上二郎が行った。

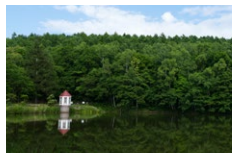
自然景観を生かす

月寒水道は道内の近代水道施設としては、明治22(1889)年の函館、明治41(1908)年の岩見沢に次ぐもので、歴史的にも貴重な遺構である。

昭和46(1971)年白川浄水場の完成により用途を廃止した後、水源池は西岡公園として整備され、郊外住宅地に近接した豊かな自然環境を形成している。取水塔はその自然景観を生かす点景、公園のシンボルとして市民に親しまれている。

概要

- レンガ及び木造、鉄板葺
- 建築面積 1.5 m²



- **建築年代:** 明治 42 (1909) 年
- **登録年月日:** 平成 13 (2001) 年 8 月 28 日
- **所在地:** 札幌市豊平区西岡公園内
- **お問い合わせ:** 西岡公園管理事務所 ☎ 582-0050
- **観覧形態:** 外観観覧のみ
- **休館日:** 無休
- **観覧料:** 無料
- **アクセス:** 中央バス「西岡水源池」

